

営農技術情報

発行 令和2年8月4日

第12号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

7月末のすくい取り調査では昨年よりアカヒゲホソミドリカスミカメが多い結果となり、北海道病害虫防除所の情報でも発生量は平年に比べ「やや多」となっております。3回目の防除（カメムシ防除）を申し込んでいない方もご検討して頂き、希望される方は各営農センターへお早めにご相談ください。

◆7月末 すくい取り調査平均

害虫名	アカヒゲホソミドリカスミカメ				ヒメトビウナカ			
	水田		畦畔・転作田他		水田		畦畔・転作田他	
調査箇所	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
	5	2	5	2	3	4	4	3

◇本田防除実施期間<<3回目>>

◎カメムシ防除

8月10日（月）～8月16日（日）

□少量散布管理ピークル（25ℓ散布）

キラップフロアブル 50ml/10a（500倍液）

□微粒剤散布

キラップ微粒剤F 3～4kg/10a



◇農薬のドリフト（飛散）には十分注意して下さい！

ハウス野菜周辺などではハウスが閉じている早朝もしくは夕方に実施し、防除前には生産者間で必ず「声掛け」を行いましょう。

※天候によって日程がずれ込むこともありますので、予めご了承ください。

登熟期後半の水管理

◇落水時期と乳白・腹白米発生の関連性

出穂期以降に土壌でヒビ割れを起こすと乳白・腹白の発生を助長する可能性がありますので、天候や各ほ場の保水力に合わせて落水時期を検討しましょう。

土壌の乾きすぎには十分注意しこまめに走水を行いましょう。

(1) 落水時期の目安

- ・排水良好田→出穂後25日目頃（穂かがみ期）に落水
- ・排水不良田→出穂後7日目頃に落水

(2) 土壌水分の目安

土壌の状態	収量への影響	品質への影響
深く大きい亀裂・根の切断を確認可能	不適	不適
幅1cm程の亀裂多数・足跡がつかない程度	普通	不適
1cm以内の亀裂・わずかに足跡がつく程度	良好	良好